文
文法

主語と 述語

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 花が・さいた　(2) 兄は・走る　(3) 弟が・借りた　(4) 山は・高い
  (5) 父は・行く　(6) わたしこそ・作者です

みてあげる ところ

- 主語は「〜が」「〜は」の ほか、6の「〜こそ」の 形も あります。述語は 文の 終わりの ーまとまりです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

修しょく語の かかり方

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

つなげて
読んでみよう



こたえ

- 1　(1) ㋐ 犬が　(2) ㋒ 歩いた　(3) ㋒ 雲が　(4) ㋑ 家の　(5) ㋑ まい上がった
  (6) ㋒ 話した　(7) ㋓ 書いた　(8) ㋑ 起きる

みてあげる ところ

- 4は「となりの 家」、ほかは「大きな 犬」「ゆっくり 歩いた」のように、つなげて 意味が 通る 言葉が 答えです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

単文・重文・複文

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

文
文法

主語と 述語の
組を 数えよう



こたえ

- 1　(1) ㋐ 単文　(2) ㋑ 重文　(3) ㋒ 複文　(4) ㋐ 単文　(5) ㋑ 重文　(6) ㋒ 複文
  (7) ㋒ 複文　(8) ㋑ 重文

みてあげる ところ

- 3・6・7は「母が 作った」「弟が 育てた」「姉が 書いた」が 後ろの 言葉（ケーキ・花・手紙）を くわしく して いる 複文です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）